

福島第一原子力発電所 建屋開口部における空气中放射性物質の核種分析結果<1/4>

参考値

(データ集約：10/30)

採取場所	4号機原子炉建屋開口部 (原子炉建屋大物搬入口)		1号機タービン建屋開口部 (タービン建屋大物搬入口)		2号機タービン建屋開口部 (タービン建屋大物搬入口)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成25年10月20日 9時5分～10時5分		平成25年10月20日 11時32分～12時32分		平成25年10月20日 11時32分～12時32分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	3E-03

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約4E-6Bq/cm³、Cs-134が約8E-6Bq/cm³、Cs-137が約1E-5Bq/cm³。

粒子状のI-131が約2E-6Bq/cm³、Cs-134が約5E-6Bq/cm³、Cs-137が約7E-6Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 建屋開口部における空气中放射性物質の核種分析結果<2/4>

参考値

(データ集約：10/30)

採取場所	3号機タービン建屋開口部 (タービン建屋大物搬入口)		4号機タービン建屋開口部 (タービン建屋大物搬入口)		1号機廃棄物処理建屋 (西側開口部)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成25年10月20日 11時22分～12時22分		平成25年10月20日 11時22分～12時22分		平成25年10月20日 8時55分～9時55分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	9.3E-06	0.00	ND	-	3E-03

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.OE-○とは、 $○.○ \times 10^{-○}$ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約4E-6Bq/cm³、Cs-134が約8E-6Bq/cm³、Cs-137が約1E-5Bq/cm³。

粒子状のI-131が約2E-6Bq/cm³、Cs-134が約5E-6Bq/cm³、Cs-137が約7E-6Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 建屋開口部における空气中放射性物質の核種分析結果<3/4>

参考値

(データ集約：10/30)

採取場所	2号機廃棄物処理建屋 (西側開口部)		4号機廃棄物処理建屋 (北西側開口部)		プロセス主建屋 (東側開口部)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成25年10月20日 8時55分～9時55分		平成25年10月20日 9時5分～10時5分		平成25年10月20日 11時12分～12時12分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	3E-03

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.OE-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約4E-6Bq/cm³、Cs-134が約8E-6Bq/cm³、Cs-137が約1E-5Bq/cm³。

粒子状のI-131が約2E-6Bq/cm³、Cs-134が約5E-6Bq/cm³、Cs-137が約7E-6Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 建屋開口部における空气中放射性物質の核種分析結果<4/4>

参考値

(データ集約：10/30)

採取場所	焼却工作建屋開口部 (南東側開口部)		サイトバンカ建屋開口部 (サイトバンカ建屋大物搬入口)		雑固体廃棄物 減容処理建屋開口部 (北東側開口部)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成25年10月20日 9時25分～10時25分		平成25年10月20日 11時12分～12時12分		平成25年10月20日 9時25分～10時25分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	2.5E-05	0.01	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	6.8E-05	0.02	3E-03

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.OE-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約5E-6Bq/cm³、Cs-134が約8E-6Bq/cm³、Cs-137が約1E-5Bq/cm³。

粒子状のI-131が約3E-6Bq/cm³、Cs-134が約5E-6Bq/cm³、Cs-137が約7E-6Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。